

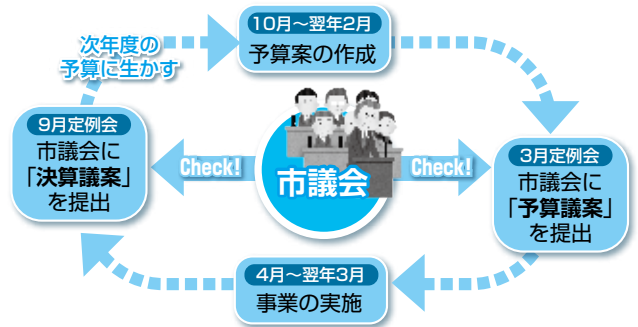
# 令和3年度決算 わたしたちの税金がどのように使われたか？ 無駄な事業や問題点はなかったか？

# 認定

## 決算審査特別委員会報告

詳細に審査し

令和3年度一般会計及び特別会計等歳入歳出の決算について総額470億2,806万円を審査しました。



### ◆一般会計決算 17億3,698万9千円の黒字

一般会計	令和3年度	令和2年度	増減率
収入済額	367億4,457万円	454億6,159万6千円	▲ 19.2
支出済額	349億4,605万1千円	441億3,106万円	▲ 20.8
歳入歳出差引額	17億9,851万9千円	13億3,053万6千円	35.2
翌年度へ繰り越す事業の財源	6,153万円	1億244万9千円	▲ 39.9
実質収支額	17億3,698万9千円	12億2,808万7千円	41.4

歳入	令和3年度	令和2年度	増減率
市税 市民税、固定資産税など	91億6,486万円	93億7,939万8千円	▲ 2.3
地方譲与税・交付金 国や県が徴収した税金から一定の割合で配分される交付金	23億1,854万4千円	19億7,884万円	17.2
地方交付税 行政サービスを行うために必要な財源の不足分を、国が配分する交付税	72億6,656万9千円	67億5,004万1千円	7.7
国・県支出金 特定の事業に対して国や県から支出される補助金など	104億6,149万5千円	155億9,345万3千円	▲ 32.9
市債 借入金	33億7,060万円	50億3,020万円	▲ 33.0
その他 使用料・手数料・繰入金・繰越金など	41億6,250万2千円	67億2,966万4千円	▲ 38.1
歳入合計	367億4,457万円	454億6,159万6千円	▲ 19.2

歳出	令和3年度	令和2年度	増減率
総務費 市税の徴収・庁舎の維持費など	44億1,528万6千円	132億7,254万3千円	▲ 66.7
民生費 福祉、保育園運営、生活保護など	98億9,571万2千円	87億4,382万4千円	13.2
衛生費 検診や新型コロナワクチン接種、ごみ処理など	24億1,476万3千円	18億1,726万6千円	32.9
土木費 道路の維持管理、河川や公園管理など	40億4,437万7千円	33億9,070万5千円	19.3
教育費 幼稚園や学校教育、社会教育や文化財の保護など	46億4,840万円	47億4,737万4千円	▲ 2.1
災害復旧費 被災施設の復旧など	9億2,796万7千円	30億8,910万1千円	▲ 70.0
公債費 借入金の返済	35億8,557万7千円	37億6,720万2千円	▲ 4.8
その他 議会費、農林水産業費、商工費など	50億1,396万9千円	53億304万5千円	▲ 5.5
歳出合計	349億4,605万1千円	441億3,106万円	▲ 20.8

### ◆健全化判断比率

指標	内容	令和3年度	令和2年度	早期健全化基準* (黄色信号)	財政再生基準 (赤信号)
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	赤字なし	12.59%	20%
連結実質赤字比率	一般会計・特別・企業会計を合算した赤字の割合	赤字なし	赤字なし	17.59%	30%
実質公債費比率	年間の借入金返済額の割合(3か年平均)	9.5%	10.4%	25%	35%
将来負担比率	将来の負担が見込まれる負債(借金)の割合	47.6%	53.0%	350%	

\*この基準を超えると国の定めに従い、健全化に向けた取り組みが必要となる

# 決算審査特別委員会の流れ



議会の重要な権限の一つである「決算認定」を行うため、特別に設置される委員会。予算が実際にどのような使われ方をしたのか審査をして、適正かつ効果的に使われたのかを認定します。

## 委員会設置（9月6日）

8名の委員を選出



- ◎委員長 室井 伸一
- 副委員長 戸倉 宏一
- 委員 大木 絵理 鈴木 裕哉
- 柴原 隆夫 菅原 修一
- 佐川 京子 大竹 功一

## 個別審査（9月20日、21日）

- 議案第104号 令和3年度白河市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第105号 令和3年度白河市水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について
- 議案第106号 令和3年度白河市工業用水道事業会計決算の認定について
- 議案第107号 令和3年度白河市下水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について

事業の成果及び効果を主眼に個別審査を実施

\*事前に質疑事項や資料請求を行い、効率的な審査ができるよう配慮し、質疑104件について慎重に審査  
個別審査、総括質疑の中から一部を6、7ページで紹介します。



## 総括質疑（9月26日）

- ◎大竹委員 議案第104号中「文化交流館管理運営事業について」
- ◎佐川委員 議案第104号中「市内各地域の均衡ある発展を目指しての公共交通の整備について」

## 特別委員会の採決

議案第104号から第107号について全会一致で原案のとおり「認定及び可決」



賛成は起立します

## 本会議の討論（9月29日）

議案第104号に対する

- ◎賛成 討論 戸倉宏一 議員
- ◎反対 討論 深谷 弘 議員



討論の様子はQRコードから議会議中継をご覧ください。

## 本会議の採決

◎議案第104号

賛成22人 反対1人により賛成多数で

認定

議案名	大木	吉見	鈴木	高畠	戸倉	荒井	根本	室井	緑川	柴原	菅原	北野	水野	佐川	藤田	大花	縄田	石名	高橋	大竹	山口	須藤	深谷
議案第104号 令和3年度白河市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

◎議案第105号から第107号については、いずれも全会一致で認定及び可決しました。

# 決算審査特別委員会総括

## 室井委員長の視点

今年度の決算審査特別委員会は、昨年同様に各委員から事前に質疑事項や資料請求を行い、効率的な審査ができるよう配慮して実施しました。

2日間にわたって行われた個別審査では、令和3年度予算編成の着眼点である「住んでよかった」と実感でき、郷土に愛着と誇りを持てる街づくりを実現するため「産業・文化の振興」、「子育て支援・教育環境の充実」、「移住定住の促進」等について、市民の皆様から預かった税金が効果的・効率的に使われているかを各委員が確認を行いました。



## 多面的機能支払交付金事業

対象組織を増加させる試みを！

この交付金事業は、農地維持支払交付金と資源向上支払交付金の2つで構成されるものである。対象組織を増加させるために、県や国と連携を図っていく。



多面的機能支払交付金事業 (草刈り)

### 戸倉委員の視点



## 有害鳥獣捕獲支援事業

この事業の継続を望む！

イノシシの捕獲数が令和元年を境に減少傾向にある。その理由は「豚熱」の流行であると思われるが、依然としてイノシシの頭数は多いため、この事業を継続し農作物の被害軽減を図りたい。



イノシシによる被害

## ひきこもり自立支援事業

この事業の効果や成果は？

白河市ひきこもり相談支援センターTUNAG~つなぐ~では令和3年度の相談件数が延べ855件だった。今後も各関係機関との連携を図りながら相談支援に努めていく。



### 大木委員の視点



## 妊産婦医療費助成事業

この事業の利用率と評価は？

令和3年度の利用率は65.5%だった。(登録・利用ともに年度をまたぐ方もいる) 出産前後に金銭面の心配をすることなく安心して出産を迎えることができる事業だと評価している。



## ICT教育環境整備事業(小・中学校)

コロナ禍を機に整備が加速

国が進める「GIGAスクール構想」に基づく生徒1人1台のタブレット端末整備に、新型コロナウイルス感染症対策の地方創生臨時交付金を活用することで整備に拍車がかかった。今後はこれらを使い、生徒が自ら学ぶ教育を実現してほしい。



### 鈴木委員の視点



## フィルムコミッション事業

本市の魅力的な資源を活かす

TV番組13件、映画4件、WEB関係7件の撮影支援を実施し、各メディアを通して市のPRとコロナ禍での観光誘致に効果があった。撮影には至らなかったが大手制作会社との交渉や提案は、今後の撮影誘致に繋がることも期待できる。



## 空き家対策事業

### 防犯対策も必要

少子高齢化に伴い空き家が急増している。空き家バンクに登録された物件の購入者や賃貸者が改修する費用の支援など、空き家の活用事業を行っている。また、防犯対策からも

空き家対策は必要。



空き家バンク登録物件

### 柴原委員の視点



## 若者Uターン・定着事業

### 学生への就職活動支援

高進学率により首都圏等の大学へ進む高校生が多くいる。卒業後、白河に戻ってくれば、人口減少の歯止めとなることから、企業誘致に加え各種事業を行っている。Uターン事業の成果に苦慮している。



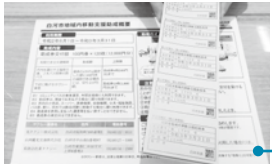
若者Uターン・地元定着促進事業 しらかわ地域合同就職企業説明会

## バス・タクシー助成券

### 利用範囲を柔軟に対応

75歳以上の高齢者や障害者の日常生活を支える移動手段を支援するためバス・タクシー助成券を交付している。市内の医療機関や商業施設に限定しているため使用しづらいとの

意見があるので改善について検討する。



バス・タクシー助成券交付イメージ

### 菅原委員の視点



## 環境保全型農業直接支払交付金

### 環境にやさしい農業に支援

令和3年度の実績は3件147万6千円。堆肥の施用や有機農業、冬季湛水、カバークロープなど環境にやさしい農業に取り組む農業者組織に対し、支援を行った。



有機農業

## 起業・創業支援事業

### 女性活躍推進に向けた多様な働き方実現事業

決算額951万3千円。地方創生推進交付金を活用し、子育てや在宅介護により働きたくても働けない女性などに対し新たな働き方として「クラウドソーシング」の活用を推進する

ためのセミナーを開催した。受講した34名中5名が仕事した。



### 佐川委員の視点



## 予約型乗合タクシー実証実験事業

### 高齢者等の移動手段の支援

決算額340万4千円。表郷・大信・東地域において地域の実情に沿った効果的な移動手段を検討するため、500円の料金で事前に登録を受けた自宅から指定目的地までの往復区間の実証実験を実施した。他の地域でも実証実験を検討する。



## 野菜で健康応援プロジェクト事業

### 事業の内容と決算額の内訳は

カゴメ健康サポートプログラムを活用し、食生活改善セミナーや手のひらで簡単に野菜摂取量を推定できるベジチェック®での測定を実施。多くの関心と共感を得ることができた。使用金額はカゴメ株式会社への業務委託

料（健康セミナー、ベジチェック®使用料、検証レポート他）と計測に必要な消耗品代等である。



### 大竹委員の視点



## 地域活性化支援事業

### 4地域及び高校生への支援事業の内容は？

コロナの影響で満足した成果が得られなかった事業もあるようだが、当初の計画について実施することができたことは評価できる。コロナ終息後は、各地域等に対してこれまでにない事業ができるよう支援していくとのこと。



地域活性化支援事業、精麦機取扱研修